

などを聞いてから、いざ田植えです。

田んぼ作りでは手も腕も服も泥んこになる程勢いがあった子どもたちも一転、稲が倒れないようにと慎重です。自分が植えた稲を見て「ピンと立ったよ」と上手くできたことが嬉しそうでした。稲も根付き、生長中です。毎日、水やりや藻取りをしながら見守っています。



今月は0・1・2歳児クラスの子どもたちの様子を紹介します。

【0歳児 ありんこ組】

室内にあるトンネルに子どもが入っていったので、保育士がトンネルの反対側に先回りをし身を潜めていると保育士に気が付きじっと見つめてきます。「ばー」と顔をのぞかせると、満面の笑みが返ってきました。保育士が顔をのぞかせては隠れて、を繰り返すと、保育士が隠れるたびに（出てくるかな）と、ワクワクした表情で待っていているのがわかります。「ばー」と顔を見せ目が合うと声を出して喜んでくれます。二人で声を出して笑い合っていると、他の子どもたちもそばに来て、同じように「ばー」と言ったり、隠れたりして楽しんでいました。

これからも、ワクワクした気持ちに共感しながら保育士とやりとりする楽しさを感じられるように関わっていきたいと思います。



【1歳児 てんとうむし組】

保育士がくまのぬいぐるみを寝かしつけているとそばで遊んでいた子が、のぞき込んでいます。保育士が「ねんね。しー」と伝えると「しー」と言いながら優しくトントンしてくれました。その様子を見ていた子も、同じように布団とハンカチを棚から出し、隣にくまを寝かし始め、友達と顔を見合わせながら互いに「しー」と言っています。しばらくして、保育士が他の子と「かんぱーい」と飲む真似をしていると、寝かせていた子が保育士の顔をのぞき込みながら「しー」と知らせてきました。「ごめんね。くまさん起きちゃうもんね」と保育士が小さな声で返すと、頷いて再びトントンと寝かしていました。遊びの中で身近な生活を再現しながら、片言や仕草で保育士や友達との関りも楽しんでいきます。

子どもの思いに共感しながら、遊びの中で身近な生活を再現して楽しめるようにしていきます。

【2歳児 みつばち組】

ホールに行くと「リズムやろうよ」と子どもたちから声が上がります。音楽に合わせて走ったり、ジャンプしたりすることが人気で、『うさぎ』『とんぼ』『きしゃ』は「もう1回」と何度もリクエストがきます。汽車は自分が電車になりきり、大井町線『自由が丘』から始まって目指すは『大岡山駅』です。音に合わせてだんだんスピードを上げていくところは、大興奮です。自分の腕を車輪に見立てて回す時の顔は真剣そのものです。